

第25回電波功績賞表彰式が開催されました

6月17日、第4回定時総会に引き続き、第25回電波功績賞表彰式が開催され、桜井総務審議官からご祝辞を頂戴し、総務大臣表彰の受賞者の方々に表彰状が授与されました。また、当会の矢野会長から一般社団法人電波産業会会長表彰の受賞者の方々に表彰状が贈呈されました。

表彰状受領後、受賞者を代表して日本放送協会 放送技術研究所 上級研究員 境田 慎一様よりご挨拶がありました。

1 総務大臣表彰

(1) 「超高精細度テレビジョン衛星放送方式の開発」

日本放送協会 放送技術研究所 超高精細度テレビジョン衛星放送方式開発グループ

代表 境田 慎一 殿（日本放送協会 放送技術研究所 上級研究員）

放送分野において、超高精細度テレビジョン衛星放送のための伝送路符号化方式、多重化方式、映像圧縮符号化方式を開発し、スーパーハイビジョン（8K）放送を1中継器（34.5MHz帯域）で可能とする電波を有効に利用した放送方式を確立するとともに国の技術的条件の策定に大きく貢献した。

(2) 「LTE/3G 両方式に対応したフェムトセルの開発・実用化」

株式会社 NTT ドコモ Xi フェムトセル開発グループ

代表 梅田 成視 殿（株式会社 NTT ドコモ 無線アクセス開発部 部長）

移動通信分野において、LTE と 3G の統合制御により両方式の同時運用に対応した超小型基地局装置（フェムトセル）を開発し、3G の音声通信をサポートしつつ LTE 方式の屋内環境への早期普及を実現するなど電波の有効利用に大きく貢献した。

2 一般社団法人電波産業会会長表彰

(1) 「世界初の WiMAX Release 2.1 の実用化」

UQ コミュニケーションズ株式会社 WiMAX Release 2.1 開発実用化チーム

代表 野坂 章雄 殿（UQ コミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長）

広帯域移動無線アクセス分野において、従来方式の WiMAX と比較して周波数利用効率を最大約 60%高め、伝送レートも 5 倍以上高速化する技術を開発するとともに、国際標準化を推進し、電波を有効に利用した WiMAX Release 2.1 の実用化に大きく貢献した。

(2) 「5%ロールオフフィルター等による周波数を有効に利用した SNG 伝送技術の実用化」

日本テレビ放送網株式会社 次世代 SNG 伝送検討グループ

代表 牧野 鉄雄 殿（日本テレビ放送網株式会社 技術統括局 技術戦略部 次長）

株式会社マウビック 次世代 SNG 伝送検討グループ

代表 小沢 誠 殿 (株式会社マウビック 代表取締役)

スカパーJSAT 株式会社 次世代 SNG 伝送検討グループ

代表 辻 直樹 殿 (スカパーJSAT 株式会社 技術運用本部 通信技術部
アシスタントマネージャー)

放送分野において、5%ロールオフフィルタおよび 32APSK 変調による衛星伝送技術を実証し、HD 画質や降雨時の耐性を確保しつつ、1 中継器 (36MHz 帯) 当りの伝送波数を従来の 4 波から 6 波に改善するとともに、狭帯域化による送信電力の低減も可能とするなど、電波を有効に利用した SNG 伝送技術の実用化に大きく貢献した。

(3) 「移動通信基地局用 5 周波共用アンテナの開発」

株式会社 NTT ドコモ

代表 梅田 成視 殿 (株式会社 NTT ドコモ 無線アクセス開発部 部長)

電気興業株式会社

代表 下田 剛 殿 (電気興業株式会社 取締役執行役員 機器統括部長)

日本電業工作株式会社

代表 永松 勢至 殿 (日本電業工作株式会社 取締役 アンテナ事業部長)

日立金属株式会社

代表 笠井 克洋 殿 (日立金属株式会社 電線材料カンパニー
情報システム統括部 統括部長)

移動通信分野において、従来の 4 周波共用アンテナにアンテナ内干渉抑圧技術を実装した 5 周波共用アンテナを開発し、従来の基地局アンテナの容易な置き換えで 700MHz 帯移動通信の迅速なエリア構築を可能とするなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

(4) 「スタジアム等の多端末環境における高密度 Wi-Fi ソリューションの実用化」

シスコシステムズ合同会社

代表 小林 祐一 殿 (シスコシステムズ合同会社 サービスプロバイダー事業
NTT 事業本部 部長)

エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社

代表 原 伸宏 殿 (エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社
設備サービス部長 兼 設備企画部長)

株式会社ミライト

代表 柳澤 繁 殿 (株式会社ミライト 取締役常務執行役員
ソリューション事業本部長)

株式会社西武ライオンズ

代表 竹内 晃治 殿 (株式会社西武ライオンズ 取締役)

無線アクセス分野において、高密度に配置した Wi-Fi アクセスポイントのエリアパターンの最適化と、エリア全体のスループットの最大化により、スタジアム等での多数の端末に大容量コンテンツの安定的な配信を可能とする高密度 Wi-Fi ソリューションを実用化し、電波の有効利用に大きく貢献した。

(5) 「60GHz 帯 狭帯域高速無線伝送システムの開発・実用化」

日本電気株式会社 モバイルワイヤレスソリューション事業部

代表 森本 伸一 殿（日本電気株式会社 モバイルワイヤレスソリューション事業部 マネージャー）

無線伝送分野において、60GHz 用の 256QAM 変調を用いた大容量無線装置と高利得平面アンテナの開発により、超小型、高システム利得のミリ波帯無線機を実用化し、電波の有効利用に大きく貢献した。



表彰式における
矢野会長の挨拶



表彰式における
桜井総務審議官のご祝辞



表彰式における
羽鳥選考委員長のご挨拶



受賞者を代表して
境田 慎一様のご挨拶



第 25 回電波功績賞表彰式終了後の記念撮影

後列左側から

野坂様、牧野様、小沢様、辻様、下田様、永松様、笠井様、小林様、原様、柳澤様、竹内様、森本様

前列左側から

鈴木総括審議官、境田様、吉良基盤局長、桜井総務審議官、矢野会長、羽鳥委員長、梅田様、富永電波部長